

こっこめ通信 10 2004

「秋はシギチと虫の声」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

夏は終わったはずなのに、今年は高気圧の張り出しの中に入り、暑い日が続いている八丈島です。

それでも朝晩、少しは過ごしやすくなり、いろいろな虫の声も聞こえるようになってきました。昼間の雲も高層の雲が多くなり、夕日に染まる夕焼けの色も鮮やかになり、暑さの中にも少しずつ秋の気配が感じられるようになってきています。

さて、今回は秋のお話「珍鳥・アメリカウズラシギ」「島の鳴く虫・どんな虫」のお話です。

珍鳥・アメリカウズラシギ



アメリカウズラシギ

2004.9.23 大潟浦園地



アメリカウズラシギ

2004.9.19 大潟浦園地



ムナグロ

2004.9.19 大潟浦園地



メダイチドリ

2004.9.19 大潟浦園地

秋になると八丈島には、渡りの途中に立ち寄る旅鳥が多く見られます。特にシギやチドリの仲間は多く、今年も大潟浦や空港の滑走路脇にはいろいろな種類が降りてきているようです。

9月になって何種類かのシギチ（バードウォッチャーの中ではシギ・チドリの仲間を総称してシギチと呼びます）が大潟浦園地で餌をついばんでいる姿があり、観察に行ってみると見かけぬシギチがいました。さっそく写真撮影をし、日本野鳥の会に調べてもらおうと「アメリカウズラシギ」であることが分かりました。

日本では、「アメリカウズラシギ」は数少ない旅鳥として水田、干潟、埋立地などに渡来し、特に秋の幼鳥の記録が多いようです。今回の記録は八丈島では初記録となります。

「アメリカウズラシギ」と一緒に「ムナグロ（数羽）」や「メダイチドリ」も観察できました。

また、サギの仲間も旅鳥として島に降り立っています。

これから秋も終わりになってくると島で冬を過ごす冬鳥の姿も目に付くようになってきます。種類が増えてくるとまた鳥探しの楽しみが多くなりそうですね。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

島で鳴く虫・どんな虫

秋になって気温が少し下がり始めると、草むらの中から色々な虫の声が聞こえてきます。夜になると、とても静かな島なので虫の声は良く響きます。

そこで今回、色々な鳴く虫（コオロギやキリギリスの仲間）を公園内で探してきました。



↓ シバスズ *Pteronemobius mikado*

とても小さなコオロギ（6～8mm）、芝生のような草むらで見られます。良く跳ぶので見つけるのが大変です。

「ジーイー ジーイー」と長く不規則に鳴きます。植物公園の中でもたくさん見られます。



↑ マダラスズ

Pteronemobius nigrofasciatus

小さなコオロギ（6～12mm）、草むらなどで見られます。良く跳ぶので見つけるのが大変です。

「ジーーーーィッ ジーーーーィッ」と小さな声で鳴きます。植物公園の中でもたくさん見られます。

↑ エンマコオロギ *Teleogryllus emma*

島の中で見られるコオロギの中では大型（26～40mm）、畑や草むらなどで見られます。

「コロコローリ コロコローリ」と大きな声で鳴きます。

植物公園の中でも見られます。



↓ クビキリギス

Euconocephalus thunbergii

大きさは 60mm 前後、草むらで見られ、成虫で冬を越します。

「ジーン ジーン」と強く鳴きます。植物公園の中でも見られます。

（写真は、5 齢幼虫？）



↑ タイワンクツワムシ

Mecopoda elongata

とても大きく（50～75mm）、緑色の個体や褐色の個体などが見られます。

「グワッ グワッ グワッ ギュルルルル」と大きな声がヤブの中から良く聞こえます。

植物公園の中でも見られますが、夜に道路などでも見かけます。



↑ ホシササキリ

Conocephalus maculatus

大きさは 20mm 前後、明るい草むらなどで見られます。

「ジジジジジジ」と低い声で鳴きます。植物公園の中でも見られます。

八丈島で記録のあるコオロギ・キリギリスの仲間と鳴き声

ケラ科（1 種）	
ケラ	ピーー—— ピー——
コオロギ科（9 種）	
ネッタイクチキコオロギ	ギリリ ギリリ グリーィ グリーィ
カマドコオロギ	チリ チリ チリ チリ チリ チリ
タンボオカメコオロギ	リ° イリ° イリ° イリ° イリ° イリ° イ
シバスズ	ジーイーー ジーイーー
マダラスズ	ジーーーーィッ ジーーーーィッ
ヤチスズ	ジーーーーー ジーーーー
エンマコオロギ	コロコローリ コロコローリ
ツツレサセコオロギ	リィリィリィリィリィリィ
タンボコオロギ	ジャッ ジャッ ジャッ ジャッ
クサヒバリ科（2 種）	
ヤマトヒバリ	ジィジィジィジィ
ウスグモスズ	？

カネタタキ科（2 種）	
イソカネタタキ	チリ チリ チリ チリ チリ チリ
カネタタキ	チ チ チ チ チ
キリギリス科（11 種）	
ヒロバネツユムシ	？
ホシササキリ	ジジジジジジジ
ササキリ	ジキジキジキジキ
セスジツユムシ	ツ ツ ツ ツ ツ
クビキリギス	ジーン ジーン
ウマオイ	スィーッチョ スィーッチョ
ハタケノウマオイ	シィチョ シィチョ シィチョ
クダマキモドキ	チィッ チィッ チィッ
タイワンクツワムシ	グワッ グワッ グワッ ギュルルルル
ツユムシ	ジ・ジィジィジィジィジィ
ヒメクダマキモドキ	チチッ チチッ チチッ

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は9月12日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成16年第8回）

平成16年9月12日（日） 13時30分～15時 参加者・平野、沖山、榛原、V.C. 菊池 合計3名

	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			39	イヌタデ	花
1	カタバミ	花と実	40	ママコノシリヌグイ	花、盛り
2	オニタビラコ	蕾、花、種	41	ヒロハハウキギク	花
3	コゴメガヤツリ	花	42	ベニバナボロギク	花
4	コニシキソウ	花と実	43	タケダグサ	花
5	メヒシバ	花	44	ヒナタイノコヅチ	花と実
6	アシタバ	花と実	45	シロノセンダングサ	花
7	ヒメムカシヨモギ	蕾、はな	46	イヌホオズキ	花と実
8	イワニガナ	花	47	キンミズヒキ	花と実
9	ウリクサ	花、盛り	48	シロツメクサ	花、狂い咲き？
10	チチコグサモドキ	見	49	セイヨウタンポポ	花
11	ヒナギキョウ	花と実	50	ハマスゲ	花
12	オオアレチノギク	蕾	51	キツネノマゴ	花と実
13	カヤツリグサ	実	52	キランソウ	花、狂い咲き
14	オヒシバ	花と実	53	ヤンバルハコベ	蕾有り
15	ヨモギ	蕾	54	ヒメジョオン	咲き残り
16	タカサブロウ	蕾、花、実	55	ネズミノオ	実
17	ハチジョウアザミ	蕾、花	56	ノコンギク	花
18	センニンソウ	満開	57	フウトウカズラ	若い実
19	ザクロソウ	実	58	ハシカグサ	花
20	ヘクソカズラ	花と実	59	アメリカスズメノヒエ	花、初記録
21	ウスベニニガナ	花	60	チチコグサ	実
22	シマスズメノヒエ	花	61	チチミザサ	花
23	メリケンカルカヤ	蕾	62	テリハノブドウ	蕾
24	タチスズメノヒエ	花と実	63	コミカンソウ	実
25	ヒメクグ	実	木本		
26	ヤマイ	花と実	1	シチトウエビヅル	花
27	エノコログサ	実	2	シマクサギ	花
28	アキノエノコログサ	実	3	サカキカズラ	実
29	カラムシ	花	4	シチトウタラノキ	蕾
30	クグ	実	5	ガクアジサイ	実
31	ツルボ	花と実	6	オオムラサキシキブ	若い実
32	コマツヨイグサ	花、少ない	7	イタビカズラ	実
33	セイタカハマスゲ	花、初記録	8	タイミンタチバナ	実
34	ススキ	花	9	ヒメユズリハ	実
35	ヤブガラシ	花	10	ホルトノキ	実
36	クズ	花	11	マンリョウ	実
37	ハチジョウウイタドリ	花	12	テイカカズラ	花
38	キンゴジカ	蕾、花、実	今回は75種の植物を観察しました。		

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られる「シチトウタラノキ」にスポットを当ててみたいと思います。



シチトウタラノキ

Aralia ryukyuensis var. inermis

リュウキュウタラノキの変種。伊豆諸島に分布しています。

葉が2回羽状複葉で小葉がやや厚く、大きい。図鑑によっては3回羽状複葉としてあるものもありますが、島で見えるかぎりは2回羽状複葉。

茎に棘のあるものと無いものがあります。島でも若芽を食用とします。

2004 10

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
31 ガイドウォーク 07:08 00:12 17:50 12:22		 この色の日 特別行事があります			1 06:37 00:09 18:12 12:20	2 ガイドウォーク 07:16 00:40 18:30 12:45
3 ガイドウォーク 07:56 01:12 18:49 13:08	4	5 ●	6	7	寒露 8 15:11 06:26 21:34	9 ガイドウォーク 00:41 07:48 15:25 21:24
10 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 02:09 08:41 15:41 21:37	11 ガイドウォーク 03:01 09:22 16:00 21:57	12	13	● 14 05:07 11:05 17:03 23:19	15	16 ガイドウォーク 06:33 12:10 17:49
17 ガイドウォーク 特別講座 「こん沢林道 ハイキング」 07:21 00:27 18:13 12:42	18	19	20	● 21 13:19 04:03 20:08 17:38	22	霜降 23 ガイドウォーク 八文学講座 「秋の自然観察会」 14:51 07:22 20:49
24 ガイドウォーク 01:53 08:27 15:17 21:18	25	26	27	○ 28 05:16 10:57 16:44 23:12	29	30 ガイドウォーク 06:32 11:55 17:28

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
10/10（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

秋の特別行事 「こん沢林道ハイキング」

末吉地区にある7.4Kmのこん沢林道をのんびりと歩きます。
10/17（9:00～ 約6時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴） 定員：15名
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円 持ち物：お弁当、飲み物、雨具

八文学講座 「秋の自然観察会」

毎月行っている八文学講座。今月は鴨川ホテル水路にて秋の自然観察会を行います。
10/23（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 鴨川ホテル水路集合・解散 参加費：100円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2004.10.1 第41号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

今まであまり気にしていなかった「秋の鳴く虫」。よ～く耳を澄まして聞いていると本当にいろいろな虫の声が聞こえてきます。今回撮影するためにいろいろと探しましたが「声は聞こえど姿は見えず」。ヤブカに刺されながら大変でした。（高）